

## 福津市景観審議会の役割

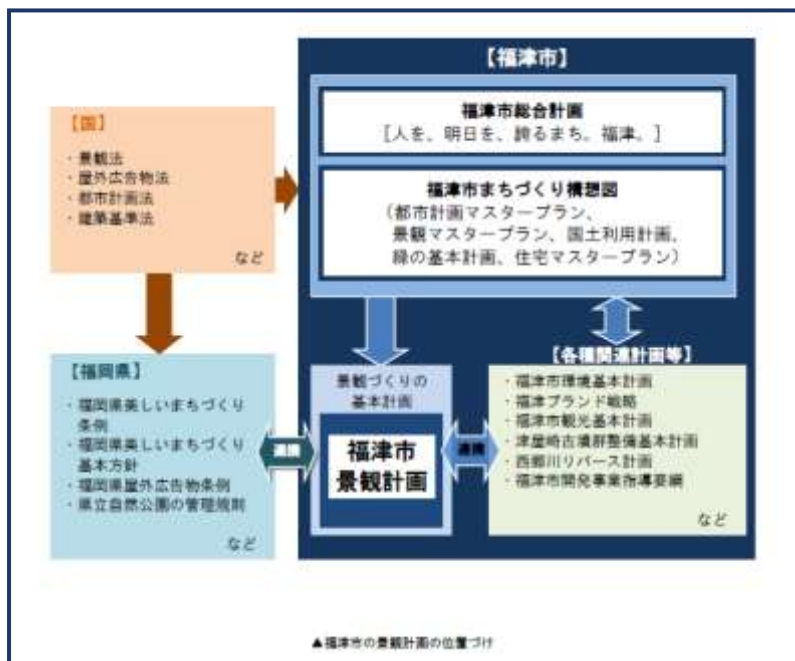
- |         |  |
|---------|--|
| 1. 目 的  | 市の良好な景観の形成に関する事項について、市長の諮問に応じて審議を行う  |
| 2. 主な役割 | ①景観計画の策定・変更に係る審議<br>②景観条例の改正に係る審議<br>③届出違反行為等に係る勧告・公表、命令等に係る意見<br>④景観重要建造物・樹木の指定・指定解除に対する意見<br>⑤景観に大きな影響を及ぼすおそれのある事業計画等への助言<br>⑥景観施策の進行状況の確認 |
| 3. 構成員  | ①学識経験者(都市計画、建築、土木、色彩、広告デザイン等の専門分野)<br>②関係団体(建築士会、建設協会、商工会、観光協会、農業委員会等)<br>③市民代表  |
| 4. 人 数  | 13人以内  |
| 5. 任 期  | 2年以内(再任を妨げない。ただし委員が欠けた場合の補欠委員の任期は前任者の残任期間)   |
| 6. 開催頻度 | 年1～2回程度  |
| 7. 根拠法令 | ①福津市景観条例 第7条<br>②福津市景観条例施行規則 第2条   |
| 8. 報酬等  | 報酬(会長 5,400 円、委員 4,800 円) ※1回あたり<br>費用弁償(会長 2,000 円、委員 2,000 円) ※1回あたり   |

## 福津市景観計画

### 福津市景観計画について

福津市景観計画は、景観法の施行および地域住民の意向を踏まえ、福津らしい良好な景観の保全・形成を総合的かつ計画的に推進するための基本的な考え方、基本方針および景観形成基準等を明らかにし、住民・事業者・行政の共働により良好な景観形成を総合的かつ計画的に推進し、その実現を図ることを目的に定めることとします。

### 景観計画の位置づけ



### 福津市の景観形成方針(P.3)

市内のフットパスを分類し、  
景観特性ごとに10のエリアと5つのゾーン、  
2つの景観軸に再区分。

#### メモ

フットパス：小径(こみち)、生活道路。  
市の主要道路は景観軸。身近な生活道路はフットパスと設定し、来訪者もフットパスを楽しめるフットパスネットワークの形成を目指す。



### 福津市景観計画





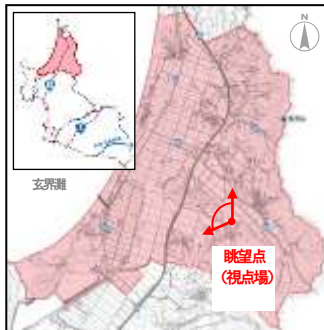
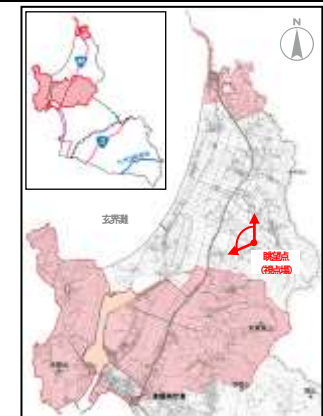
福岡県 福津市

#### 【基本目標】

時の流れを慈しみ  
福津の暮らしを未来へつなぐ  
景観まちづくり

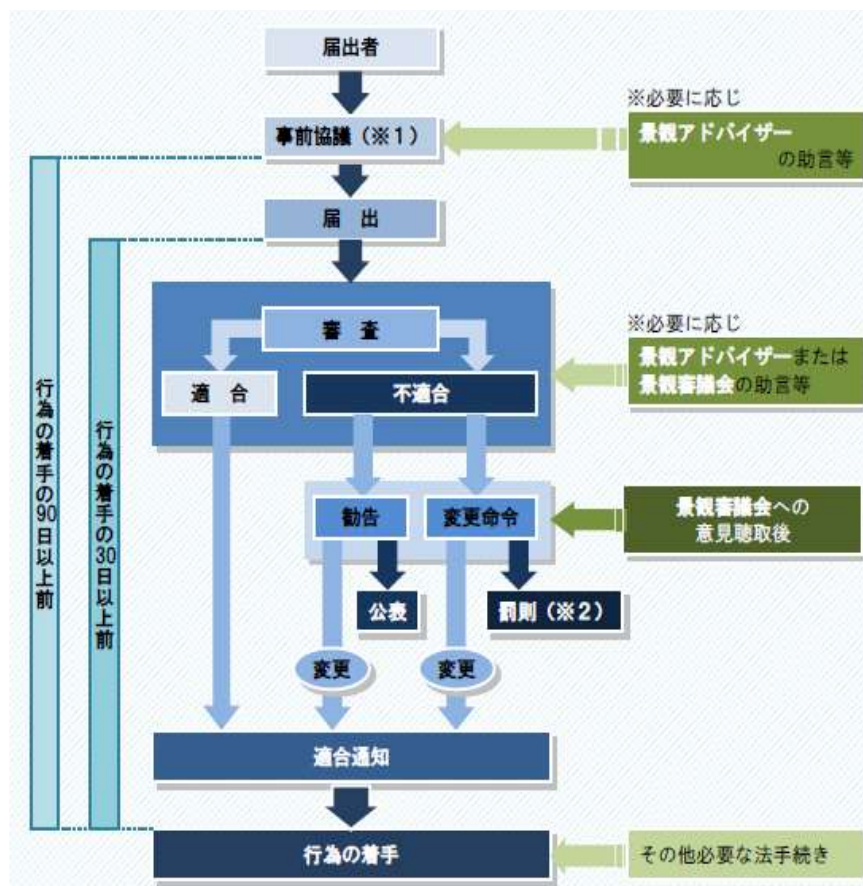
## 景観形成のための行為の制限

## 景観重点区域(P.31-48)

福間駅東区域	津屋崎千軒区域	新原・奴山古墳群 眺望区域1	新原・奴山古墳群 眺望区域2
			
建築物:延床1,000㎡ ～ 周囲との調和を心がける。	すべての行為 3 寸勾配屋根(片流れ NG)、12 m以下、2 階建 を基本とする。	建築物:延床 10 ㎡～ 3 寸勾配屋根(片流れ NG)、10 m以下、視点場 からの眺望に配慮。	建築物:延床 150 ㎡～ 3 寸勾配屋根(片流れ NG)、13 m以下、視点場 からの眺望に配慮。

※届出対象行為

## 景観の届出フロー(P.72)

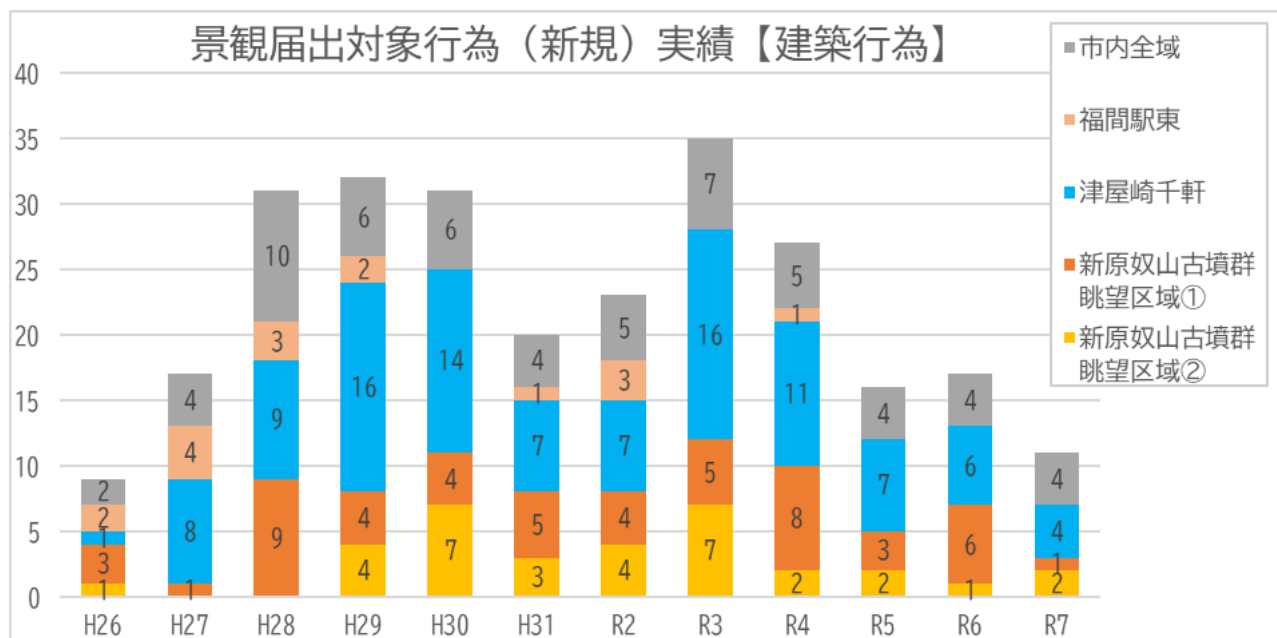


メモ

景観アドバイザーは、景観形成基準では判断できない場合などに、専門的知見から助言をもらう。場合によっては景観アドバイザー会議を開催・協議を行う。  
年間 1~2 件

## 景観の届出対象行為

建築・開発	一般区域	景観重点区域				
年度	市内全域	福岡駅東	津屋崎千軒	新原奴山古墳群 眺望区域①	新原奴山古墳群 眺望区域②	合計
H26	2	2	1	3	1	9
H27	4	4	8	1	0	17
H28	10	3	9	9	0	31
H29	6	2	16	4	4	32
H30	6	0	14	4	7	31
H31	4	1	7	5	3	20
R2	5	3	7	4	4	23
R3	7	0	16	5	7	35
R4	5	1	11	8	2	27
R5	4	0	7	3	2	16
R6	4	0	6	6	1	17
R7	4	0	4	1	2	11
合計	61	16	106	53	33	269



※建築・開発行為含む

※R7 年度は R7.11 月迄